

2017年度

# 森林保全活動合宿

6月14日(水)~6月16日(金)

森林保全活動合宿について、本校校長が「Good ニュース」を作成しました。

## GOODニュース

## 葛飾野高校

### 理数研究校として『森林保全活動』を実施！

~6月14日~16日1学年全員で、長野県伊那市で森林保全活動合宿を行いました~



森林保全活動合宿で木を切ったり、運んだりする活動を行いました。1日目に木を運ぶ作業をしました。小さい木や大きい木が積み上げられてありその木を分けながら運びました。大きい木は皆で協力して運び、皆でやったからこそ仲間との絆も深まり、楽しく活動できました。

2日目は、木を切る作業をしました。25mを超える木を鋸で切り、倒す時には皆で声を掛け合い、ゆっくりと倒しました。その時の満足感は今でも忘れることができません。



閉会式(NPO 法人伊那谷森と人を結ぶ協議会の方へのお礼の言葉)

3日目は、自分たちが作業した場所を歩きながら回りました。作業した場所を見ると、1日目と2日目とは全然違う場所に見えました。本当に自分たちも一生懸命やれば森林をここまで変える事ができるんだと思いました。だから、これから先、何事にも一生懸命頑張ろうと思いました。

葛飾野高校では毎年6月に1年生が森林保全活動合宿を行います。目的は自然環境保全の意味を理解し、社会に貢献することや集団生活の中で規範意識や相互扶助の精神を学ぶためです。合宿に向けて、生物基礎の授業を使って森林の基礎知識や自然環境を保全する意味を学習し、教科書に載っていることを実際の現場で確認できるようにしました。また現場では、“映像でしか見たことのない活動をしたい”ということテーマとし、自ら除伐する木を選び、ノコギリで木を切り倒してもらいました。都会の生活では絶対に味わえないことを中心に体験させ、集団で協力する大切さも合宿を通じて学んでもらえたのではないかと思います。(第1学年 教諭 越後邦彦)